

経営比較分析表（令和2年度決算）

熊本県 菊池市

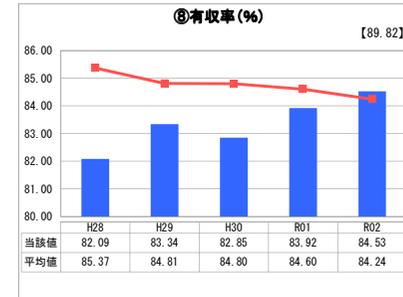
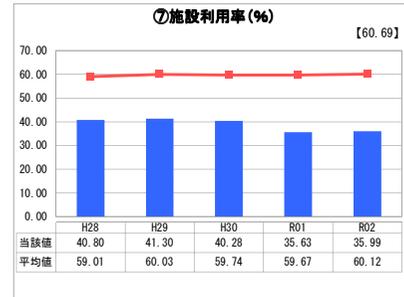
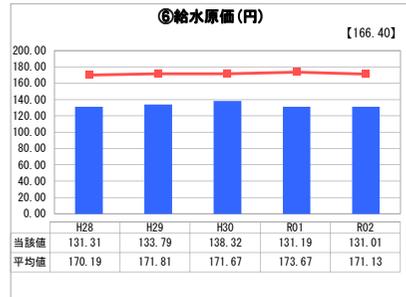
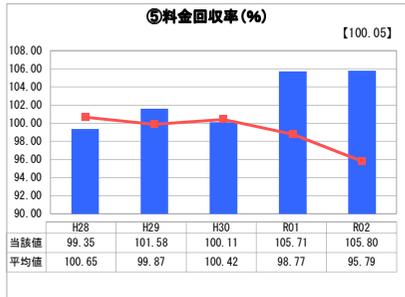
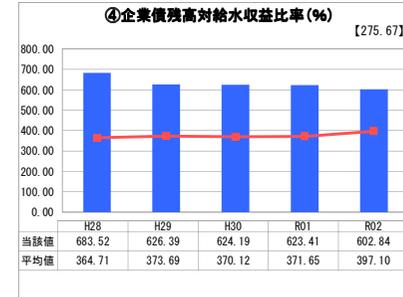
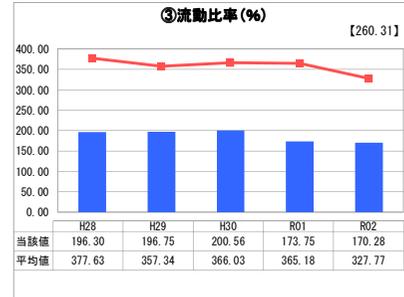
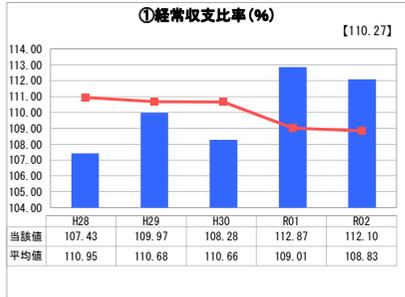
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A5 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 43.98 | 72.08 | 2,780 | |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 47,990 | 276.85 | 173.34 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 34,392 | 71.96 | 477.93 |

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

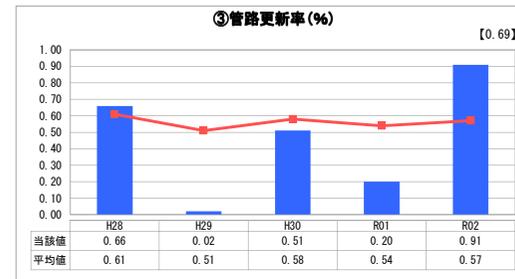
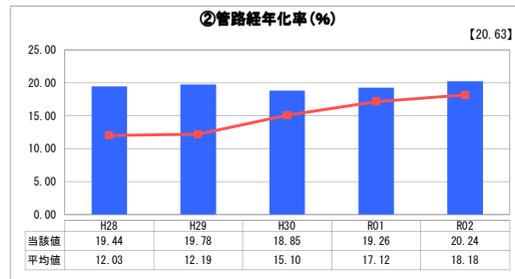
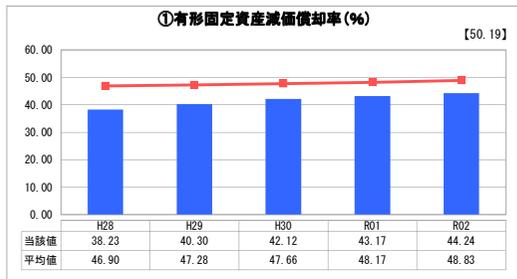
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、主に資産減耗費や修繕費の増が影響し、前年度を下回りました。
 ② 累積欠損比率は、平成28年度に簡易水道事業と統合したため欠損金が生じました。現在は累積欠損金は発生していません。
 ③ 流動比率は、前年度を下回りましたが、必要とされる1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等があることを示す100%以上となっていることから、経営の健全性は概ね保たれている状況といえます。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、旧簡易水道事業の企業債借入れによるものが影響し、類似団体平均値を大きく超えています。毎年度の企業債借入額がその年度の企業債借入額を上回らない額とするなど、改善を図ります。
 ⑤ 料金回収率は、費用の増加以上に給水収益が増加したことで、前年度より若干改善しました。
 ⑥ 給水原価は、地下水を水源としているため、類似団体平均と比較して低い状況です。
 ⑦ 施設利用率は、地形などの影響から多数の施設を保有しているため低い状況です。
 ⑧ 有収率は、発見までに相当の時間を要する漏水がほとんど無かったことなどから、前年度より改善しました。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、若干上昇傾向にありますが、類似団体平均と比較しても同様な状況であり、水道水の安定供給に影響を及ぼす状況ではありません。
 ② 管路経年化率は、上昇傾向にあり、類似団体平均を超えている状況です。
 ③ 管路更新率は、老朽化が進んだ配水管の更新を重点的に実施したため前年度より上昇しました。

2. 老朽化の状況



全体総括

新型コロナウイルス感染症に伴う在宅時間の増加などが影響し、給水収益は前年度と比較して増加しましたが、感染症の収束に伴い、再び給水人口の減少に合わせて減少傾向に向かう可能性があります。また、施設の老朽化が進み修繕費用が増加傾向となることも懸念されます。
 今後は、菊池市水道ビジョン（経営戦略）に基づき、適切な維持管理により現有資産を有効に活用しつつ、施設更新時にはダウンサイジング等を踏まえながら施設の再構築を図り、施設利用率の向上を目指すとともに、老朽化の進んだ管路を計画的に更新し、さらに有収率の改善を図っていく必要があります。